

石川県におけるニホンカモシカの分布域 - 低標高地および能登地域への分布拡大 -

上馬康生・野崎英吉 石川県白山自然保護センター

DISTRIBUTION OF JAPANESE SEROW IN ISHIKAWA PREFECTURE - ENLARGEMENT TOWARD THE LOWER-LYING DISTRICTS AND NOTO REGION -

Yasuo UEUMA and Eikichi NOZAKI, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*

はじめに

石川県におけるニホンカモシカ（以下、カモシカとする）の分布域については、近年、今まで分布していなかったところ、特に標高の低い場所での目撃や死亡確認がみられるようになり、また分布していなかった能登地域での目撃情報も得られるようになった。カモシカの詳細な分布域については、水野（1989）の報告（前回調査とする）以降にはなく、今回2000年における、県内での分布状況が明らかとなり、また2003年2月に能登地域での分布状況を調査したので合わせて報告する。

なお、この調査は石川県教育委員会文化財課の実施している、白山カモシカ保護地域特別調査および通常調査の一環で実施したものである。本稿を書くにあたり、聞き取り調査をしていただいた方々、それにお応えいただいた方々、郵送による調査用紙に回答いただいた大変多くの方々に、感謝の意を表します。

調査方法

カモシカの目撃情報の入手は、別紙の調査用紙及び添付のメッシュマップ等により、1999年1月～3月に行った。県教育委員会文化財課の委嘱の石川県白山カモシカ保護地域通常調査員10名による聞き取り調査、及び石川県白山自然保護センターからの郵送及び聞き取り調査から得られた情報である。対象としたのは県内の各山岳会会員、猟友会会員、石川県自然解説員研究会会員等や、森林組合、市町村・

県・国の農林関係機関、教育委員会などである。

次に能登地域での現地調査及び聞き取り調査を2003年2月26日～28日に行った。双眼鏡、望遠鏡による直接観察と、各地の住民からの聞き取り調査である。これは石川県哺乳類研究会（1999）によるカモシカの分布が、金沢市北部から津幡町地内にかけてはいないことになっていたため、上記の調査を補足する目的で行ったものである。また分布の北限付近では、石川県哺乳類研究会が1998年秋、2000年秋に行った聞き取り調査による情報（真野哲三・八神徳彦、未発表）を使用した。

調査結果

調査用紙による回答としては1993年以降の記録を求めたが、1996年～1999年の記録がほとんどであり、得られたカモシカ分布記録件数は1,538件となった。市町村別の件数は、表1のとおりとなり、白山麓の尾口村、白峰村、吉野谷村、河内村、鳥越村、鶴来町と金沢市、小松市、山中町で全体の95%以上をしめた。これらの市町村には前回調査でも分布記録はあったが、今回は新たに辰口町、津幡町、押水町、志雄町、鹿島町で分布が確認された。これらの分布記録を国土数値情報第3次メッシュに印で示した。

次に2003年に行った能登地域での現地調査及び聞き取り調査では、21件の内13件でカモシカの目撃情報が得られた（表2）。今回、現地調査で発見できたのは宝達山山頂の北東約2km、志雄町の標高330mの落葉広葉樹林で、カモシカの新しい足跡及び食痕

表1 ニホンカモシカの市町村別分布記録

市町村	記録件数	%
尾口村	294	19.1%
白峰村	253	16.4%
金沢市	248	16.1%
吉野谷村	195	12.7%
河内村	147	9.6%
小松市	134	8.7%
山中町	77	5.0%
鳥越村	70	4.6%
鶴来町	51	3.3%
辰口町	29	1.9%
加賀市	18	1.2%
津幡町	14	0.9%
志雄町	2	0.1%
押水町	1	0.1%
鹿島町	1	0.1%
不明	4	0.3%
合計	1,538	100.0%

を発見し、古い食痕もあったことから付近に定住していると考えられる。また表2の中で2000年時点の分布記録は 2, 4, 10, 12, 13, 15, 16, 20, 21の9件である。これらを印で前記と同じメッシュ図におとし、2000年時点での石川県内におけるカモシカ分布図を作成すると図1のようになり、さらに七尾市が分布域に入ったことになる。

考 察

前回調査(1989年)では、分布の北限は、地名等

記載がないので詳細は不明であるが、分布図でみる限り金沢市北部の北陸自動車道が横切っている付近であった。水野(1989)によると、1980年の分布域から1989年の分布域までの変化は、カモシカにとって好適な森林環境の広がりの縁近くまで分布が広がってきた結果、拡大速度がやや遅くなっているとしていたが、今回、1989年から2000年までの間に、急速に分布を広げたことが明らかである。

図1をもとにして、2000年と1989年のカモシカの分布域を示すと図2のようになる。前回調査の分布北限地から北に、津幡町のJR北陸本線の走っている付近まで分布が連続しており、そこからさらに北に約7km離れて津幡町河合から宝達山、碓石ヶ峰付近まで分布が続き、約8km北東の石動山の北部にあたる七尾市多根町多根ダム付近及び七尾市熊淵町がカモシカの県内での分布記録北限地となっている(図1)。前回調査時より直線距離にして約20km北上したことになる。なお未確認情報としては七尾市城山にもいたという話があり、生息情報については今後も注意を払っていかなければならない。一方、加賀南部では、新たに辰口町の丘陵帯のほぼ全域に分布するようになり、小松市蓮代寺町、加賀市細坪町、加賀市北原あたりが分布の最前線ないしは西限となっている。これらはいずれも標高50m前後の低地である。

白山カモシカ保護地域特別調査報告書(2000)によると、1992年の調査時に比べて、1999年の調査時のカモシカの生息密度は、同じ調査地8か所の内6か所(これらは白山麓の標高の比較的高いところであ

表2 能登地域ニホンカモシカ分布情報調査結果

番号	市町村	地名	標高(m)	メッシュコード	分布情報年月日	幼・成	備 考	調査年月日
No.1	金沢市	北方町	100-150	5436-6691	2002年秋		4~5年前からいる	2003.2.26聞き取り
No.2	"	竹又町金沢国際ゴルフ場	200-250	5436-7622	2000~2002年			2003.2.26聞き取り
No.3	河北郡津幡町	常徳	100	5436-7663.53	2002年			2003.2.26聞き取り
No.4	"	南横根	200	5436-7664	2000~2002年		3年前からいる	2003.2.26聞き取り
No.5	小矢部市	岩尾滝		5436-0635	情報無			2003.2.26聞き取り
No.6	河北郡津幡町	八ノ谷		5436-0653.43	情報無			2003.2.26聞き取り
No.7	"	上河合	200	5436-0673.74	2002年5月		大海川左岸に1頭目撃	2003.2.26聞き取り
No.8	"	瓜生		5436-0694	情報無			2003.2.26聞き取り
No.9	羽咋郡志雄町	原、宝達山	330	5536-1656	2003年2月27日		新しい足跡と食痕(古いものもある)	2003.2.27現地調査
No.10	"	平床	150	5536-1684.85	2000年秋		清水原で見つかる1週間前、北山きよし氏	2003.2.27聞き取り
No.11	"	見砂		5536-2628	情報無			2003.2.27聞き取り
No.12	"	清水原	180	5536-2649	2000年秋		角約5cmの個体、羽咋市千石原との境で目撃 北山きよし氏	2003.2.27聞き取り
No.13	羽咋市	袖子原町	150-200	5536-2669.59	2000年秋		北山きよし氏談	2003.2.27聞き取り
No.14	"	滝原町		5536-3788.89	情報無			2003.2.28聞き取り
No.15	鹿島郡鹿島町	石動山		5536-3758	1997年		県道上	1997哺乳類研究会
No.16	"	碓石ヶ峰への車道	250	5536-3700	1999年3月11日	成獣	写真あり(少年自然の家)山田憲一氏撮影	2003.2.28聞き取り
No.17	七尾市	多根町		5536-3778	情報無			2003.2.28聞き取り
No.18	"	熊淵町仏ノ前		5537-3061	情報無			2003.2.28聞き取り
No.19	"	熊淵町熊淵		5537-3070	情報無			2003.2.28聞き取り
No.20	"	多根町多根ダム	320	5536-3777	1998年夏		川畑 博氏	2000哺乳類研究会
No.21	"	熊淵町熊淵		5537-3070	1996~7年			1998哺乳類研究会

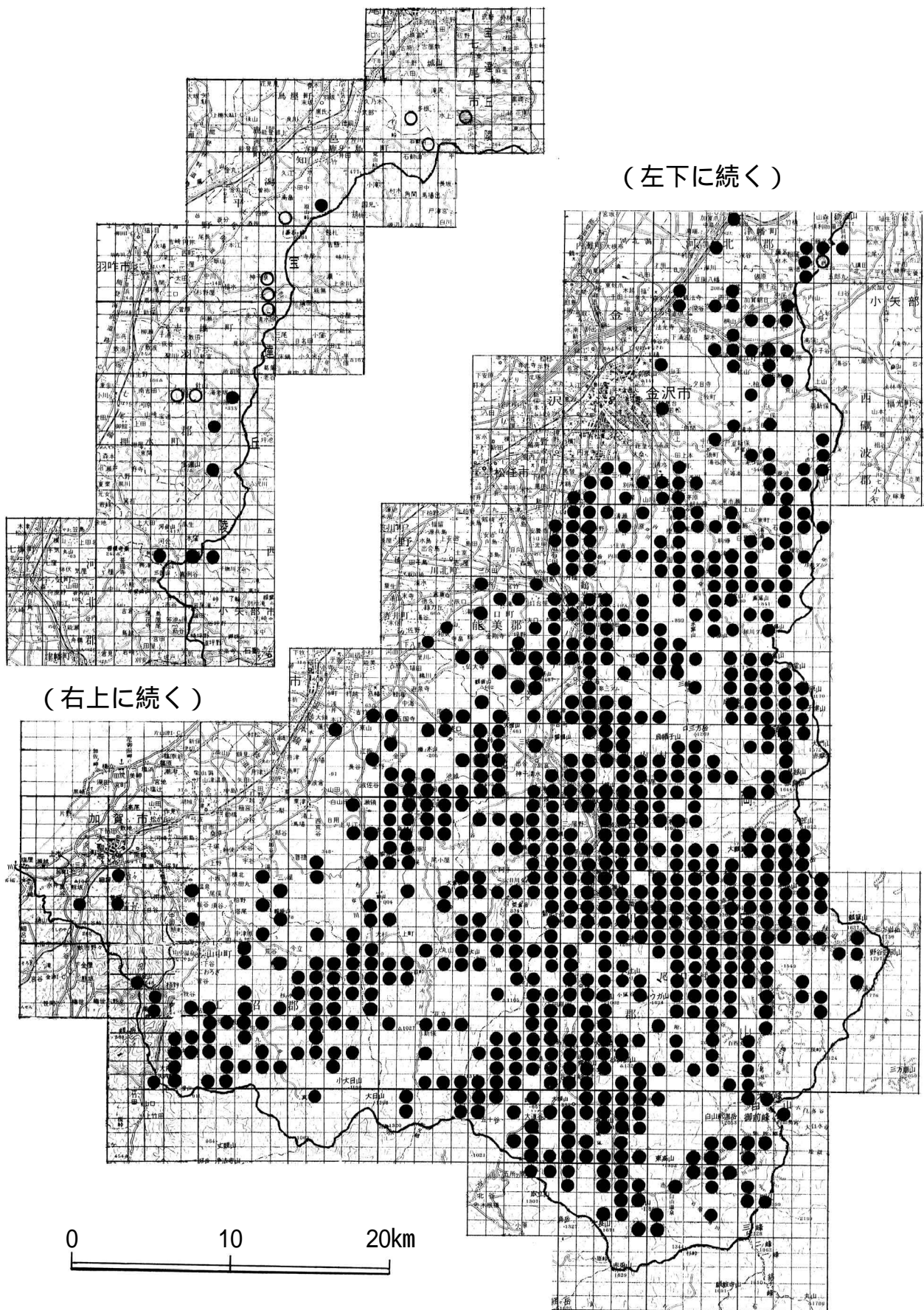


図1 ニホンカモシカの石川県での分布
1999年調査、表2の2000年以前の記録

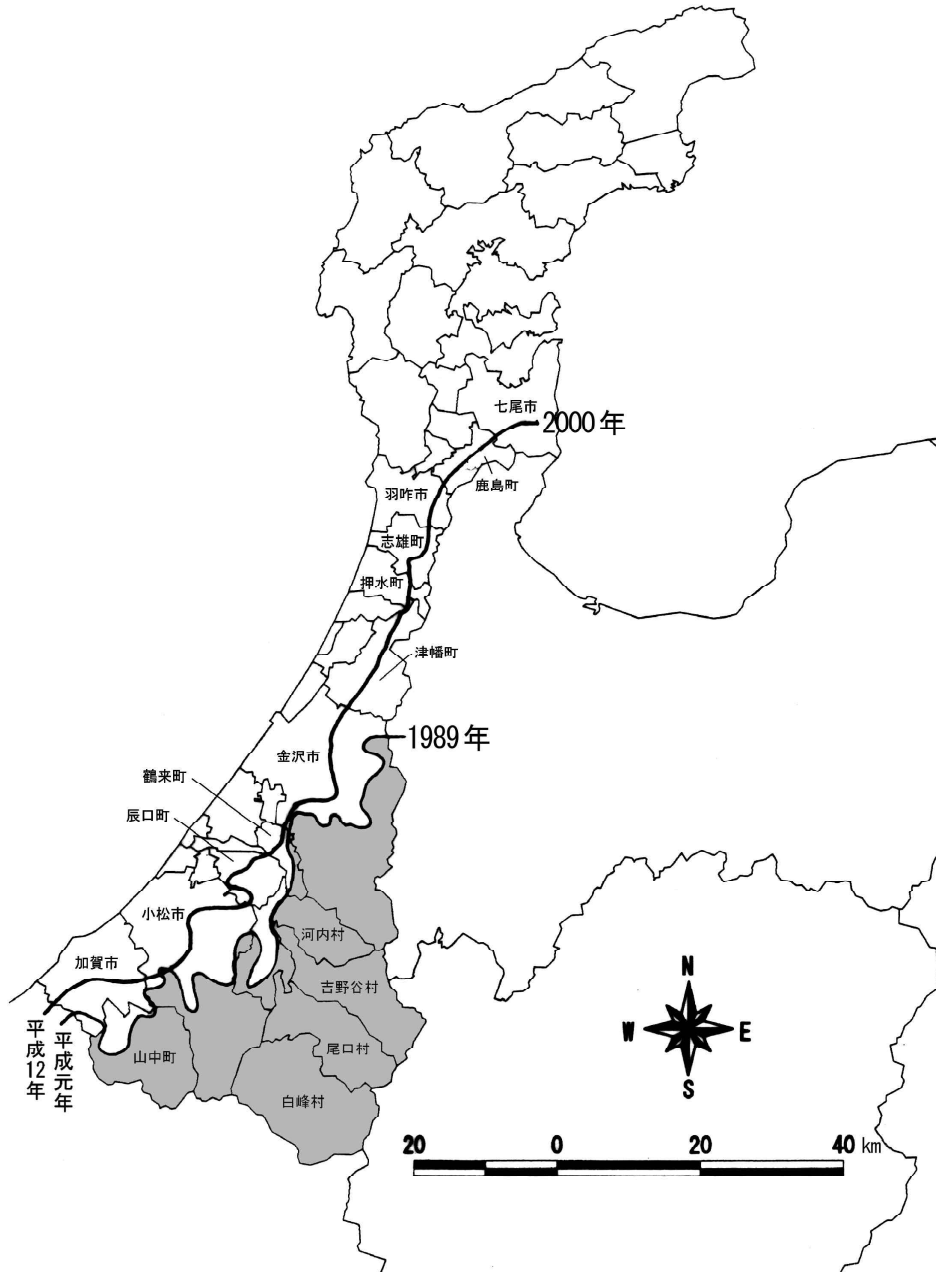


図2 石川県におけるニホンカモシカの分布域拡大

る)で大きく減少しており、滅失記録も1987年～1993年の調査より1993年～1998年の調査の標高区分別件数が、より標高の低いところが多くなっている。これらのことから、カモシカは白山の奥地での生息地の何らかの変化、例えば低木林の生長などによる生息適地の減少、あるいはそれまで多すぎた個体数の減少とより低地への移動などにより、分布域が標高のより低い地域へ、そして山地が連なっている北方すなわち能登地域へと拡大していったものと推定される。

文 献

- 石川県哺乳類研究会 (1999) 石川県の哺乳類 141pp + 7図版 . 石川県環境安全部自然保護課 .
- 水野昭憲 (1989) 石川県におけるニホンカモシカの分布域の拡大 . 石川県白山自然保護センター研究報告, 16, 29-34 .
- 富山・石川・福井・岐阜県教育委員会 (2000) 平成10・11年度白山カモシカ保護地域特別調査報告書 . 145pp .

(整理番号)

2 被害調査

No.	被害種類	被害樹種、作物	発生時期	被害程度
記入例	農業被害・林業被害・その他	スギ	10年4月上旬	小
<1>	農業被害・林業被害・その他			
<2>	農業被害・林業被害・その他			
<3>	農業被害・林業被害・その他			
<4>	農業被害・林業被害・その他			
<5>	農業被害・林業被害・その他			
<6>	農業被害・林業被害・その他			
<7>	農業被害・林業被害・その他			
<8>	農業被害・林業被害・その他			
9>	農業被害・林業被害・その他			

3 その他(地図にない場所の記録があれば、地名を書いて1, 2の各項目を記入するか、適当な地図に記入していただいても結構です。)

例	河内村中直海、手取川第3ダム右岸	10年11月3日	成獣1頭	
---	------------------	----------	------	--

書ききれない場合は裏面をご利用ください。

<問い合わせ及び提出先>
 石川県白山自然保護センター 〒920 2326 石川県吉野谷村木滑ヌ4
 Tel 07619 5321 Fax 07619 5323 (担当) 上馬 康生

ご協力ありがとうございます。今後またカモシカに関する情報があれば、ご連絡ください。

カモシカの分布及び被害調査用紙

石川県では、カモシカの最近における分布を明らかにすることと、カモシカによる食害等の被害についての現状を把握することを目的に、アンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいなか誠に恐縮ですが以下のアンケートに回答いただきたくよろしくお願いいたします。

石川県教育委員会文化財課
 石川県白山自然保護センター

<記入要領>

- ・回答していただくのは、県内の平成5年(1993年)以降の最近の記録とします。
- ・年月日は正確に分からない場合は、月または季節でもよろしいです。
- ・表の記録と同じNo.(①、②、<1>など)を、同封の地図のカモシカがいた場所に記入してください。
- ・なお、調査結果は1kmメッシュ図にしますので、できる限り広い範囲の情報を集めたく、同じメッシュ(区画)に多数の記録があれば適当に省いていただいてもよいです。
- ・特に今までになかった低地の記録や、人があまり入らない場所の記録があればもれなく記入ください。
- ・この用紙と地図を平成11年2月末までにご返送ください。

記入者氏名	所属団体又は職業			
-------	----------	--	--	--

1 分布調査

No.	発見年月日	発見頭数	No.	発見年月日	発見頭数
記入例	6年7月 日	成獣1、幼獣1	①		
①			②		
②			③		
③			④		
④			⑤		
⑤			⑥		
⑥			⑦		
⑦			⑧		
⑧			⑨		
⑨			⑩		
⑩					